

折に触れ 四字熟語

NO. 165 『笑止千万』 しょうし せんばん

< 意味 > 非常にばかばかしいこと。おかしいこと。また、そのさま。また、いかにも気の毒なさまに用いられることもある。

表 現 : 笑止千万な振る舞い

用 例 : これまた笑止千万な。南都北嶺とやらの聖僧たちも少なからぬように見うけたが
＜芥川龍之介・邪宗門＞

語 釈 : 「笑止」はおかしいこと。ばかばかしいこと。また、気の毒なこと。「千万」は語の下に添えて、このうえなくその程度が高いこと。

一 言 : ウェブサイトの goo 辞書に「四字熟語の人気ランキング」というものがあり、その第一位がこの四字熟語です。意外な感じもしますが、それだけ日常生活の中でこの言葉を実感したり使ったりする場面が多いということでしょうか。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」